



※この欄への掲載を希望しない人は、届け出のときに窓口へお申し出ください。

結婚 いっまでもお幸せに

夫氏名(地区)	妻氏名(地区)	届出日
和田 侑生(潮美台)	毛利 友香(福岡県)	3月22日
赤杉 康一(西宮市)	柿原奈津美(西宮市)	3月26日
藤江三千丈(八 木)	菅 華奈子(阿那賀)	3月28日
中村 雅文(榎 列)	高岡 麻美(洲本市)	3月28日
田村 智啓(市)	松野 恵奈(阿那賀)	3月29日
西中 敏博(松 帆)	出口 恭子(広 田)	3月31日
樋口 慎司(榎 列)	一ノ瀬里美(榎 列)	3月31日
宮崎 弘敏(八 木)	藤江 好佳(淡路市)	4月1日
稲井 良典(市)	田中 眞美(阿 万)	4月3日
柏尾 昌史(徳島県)	古田 絵理(香川県)	4月4日
村上 富二(八 木)	久井まり子(神 代)	4月6日
谷池 隆宏(松 帆)	竹内由紀子(松 帆)	4月6日
前川 誠(福 良)	安冨 智香(松 帆)	4月6日
坂田 優(津 井)	西岡 和子(徳島県)	4月6日
濱崎 公輔(阿 万)	萩山 直美(広 田)	4月11日



まちの動き

●人口 54,510人 (前月比-169人)

(男) 26,312人 (前月比-79人)

(女) 28,198人 (前月比-90人)

●世帯数 17,944世帯 (前月比-20世帯)

※平成17年4月1日現在



赤ちゃん	性別	保護者	地区	誕生日
藤江功尊 ^{のりたか}	男	勝也	市	3月14日
梶原輝哉 ^{てるや}	男	信行	市	3月15日
久保春菜 ^{はるな}	女	綾輔	賀集	3月17日
高見咲来 ^{さくら}	女	昌宏	福良	3月18日
坂口隆文 ^{たかふみ}	男	匠	広田	3月18日
古川勝也 ^{まさや}	男	浩司	榎列	3月19日
野田昂太郎 ^{こうたろう}	男	康人	賀集	3月21日
藤本凜 ^{りん}	女	教秀	八木	3月21日
阿部天咲 ^{てんしょう}	男	桂士	阿万	3月21日
大向菜釉 ^{なゆ}	女	正憲	広田	3月23日
奥濱宏平 ^{こうへい}	男	哲也	灘	3月23日
山口華奈 ^{はな}	女	修司	八木	3月24日
寺越健太 ^{けんた}	男	和政	茨城県	3月24日
東良兼伸 ^{けんしん}	男	雅文	八木	3月25日
榎本咲采 ^{さあや}	女	恭典	志知	3月26日
前田桃果 ^{ももか}	女	正吾	阿万	3月27日
武田士侑 ^{しゆう}	男	光弘	北阿万	3月28日
出口真由佳 ^{まゆか}	女	卓司	市	3月29日
嶋本想 ^{こう}	女	宏信	松帆	3月29日
長濱一牙 ^{いっさ}	男	賢吾	福良	3月31日
柏木さくら	女	隆志	八木	3月31日
川内紳太郎 ^{しんたろう}	男	泰士	宝塚市	3月31日
小澤花 ^{はな}	女	淳	松帆	4月1日
村上宝 ^{たから}	男	友徳	潮美台	4月1日
戎本真央 ^{まお}	女	仁	広田	4月3日
亀井陸翔 ^{りくと}	男	覚次	広田	4月5日
中川紗千 ^{さち}	女	俊介	北阿万	4月5日
坂本惟月 ^{いつき}	男	佳史	阿万	4月6日
原口尚大 ^{なおひろ}	男	利香	北阿万	4月6日
澤田陽菜 ^{はるな}	女	浩明	福良	4月6日
増井涼介 ^{りょうすけ}	男	敏行	松帆	4月6日
賀集陸空 ^{りくく}	男	義英	阿万	4月7日
村本勇海 ^{いさみ}	男	明義	神代	4月7日



子育て広場

■南あわじ市子育て学習センター

みどり (☎44-3008) 開設日: 月・火・水・金
 せいだん (☎37-3028) 開設日: 月・火・木・金
 みはら (☎42-7703) 開設日: 火・水・木・金
 なんだん (☎50-3048) 開設日: 月・火・水・金

【開設時間】
午前9時～
午後1時



▲さよならパーティー（子育て学習センターなんだん）

まず自分自身が
ゆとりをもとう

零歳からの子供の育ちにとって、次の三つの要件が欠かせません。

- ①もつとも身近な大人（親）
- ②他の近い大人
- ③子ども仲間

「親」だからこそ、できるものが多いが、「親」だからこそできないものも少なくありません。そこで他の大人の力（＝距離のとれる関係の力）にゆだねることも必要ではないでしょうか。また、子どもは大人との関係以上に子ども

市のホームページのイベントカレンダーで、各センターの行事がご覧いただけます。

「手入れ」という思想

飛行機から眺めて、初めて稲づくりの日本の田んぼの美しさに感動したことがあります。それは農家の人たちが日々手入れしているからです。手入れを行うのは、いい稲を作るためですが、それだけではなく、当面そうしないと何だか落ち着かない、気がすまないからやっているのだと思います。

ハートブリッジ・メンバーズ

地域のおじさん・おばさん運動

「わたしの子ども」から「わたしたちの子どもたち」へ

れの感覚です。

子どもを育てるといいうのは、
こういう感覚ではないか。手
入れというのは、もともとあ
ったものを認めておいて、そ
れに何か人間の手を加えてい
くこと。子育てがまさに典型
的な例だと思います。

その子どもの扱い方が分か
らなくなってきたのは、日常
生活の中にこの手入れの感覚

がなくなってきたからではないか。とあの養老孟司先生が書かれています。

子育て、子育てのために、親と地域の大人たちが、日常生活の中に手入れの感覚で育んでいくというのはありませんか。

ハートブリッジ・メンバーズ「地域のおじさん・おばさん運動」ではほえみや声かけ（あいさつ）などを通じて子どもとのつながり、その成長を願ひ念ずることは大事なないじな手入れの働きです。

あなたもハート・ブリッジメンバーズに登録して活動に参加してください。



南あわじ市は、子どもたちの幸せを願って、この運動を
続けます。登録は青少年育成センターまで